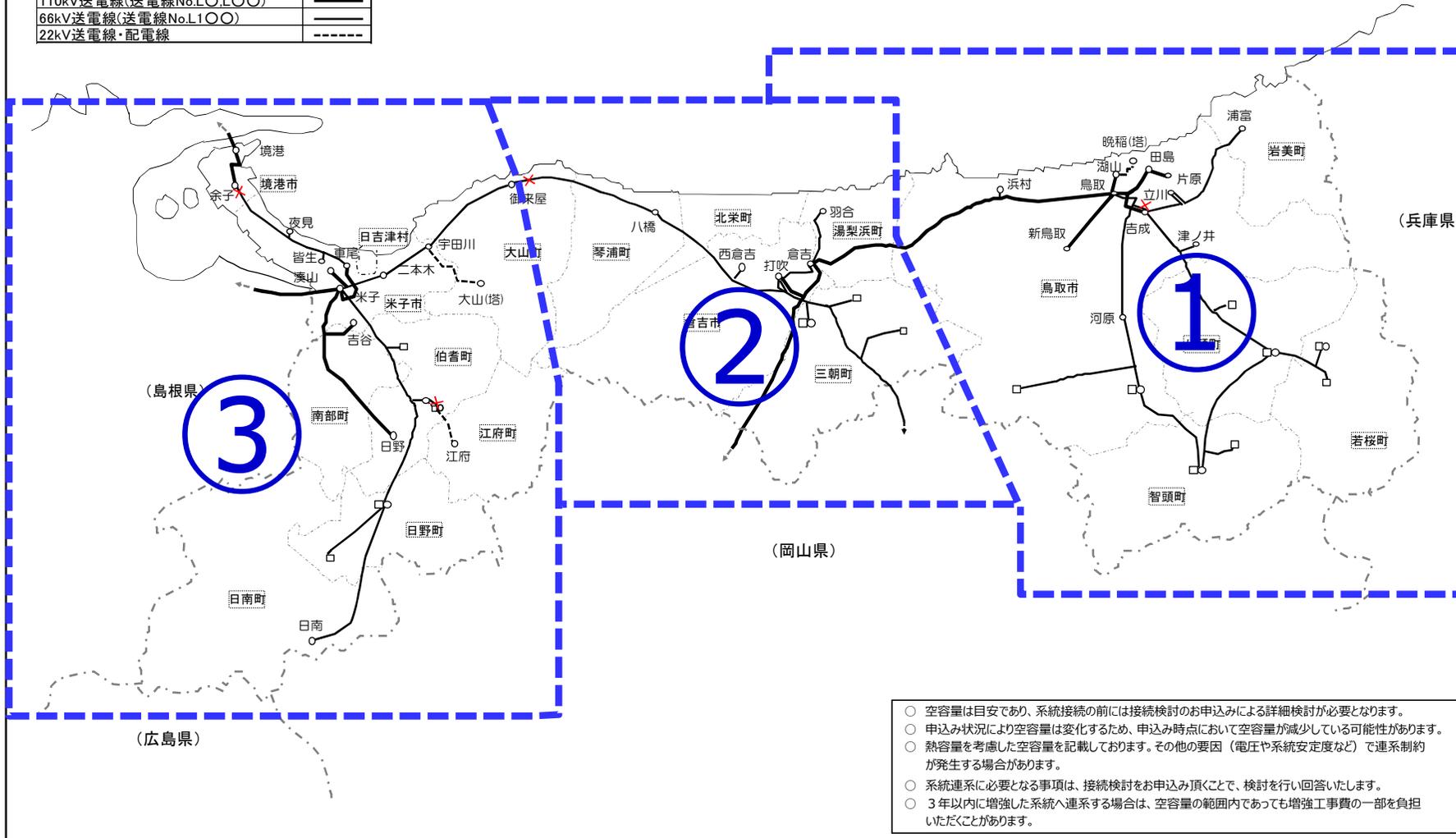


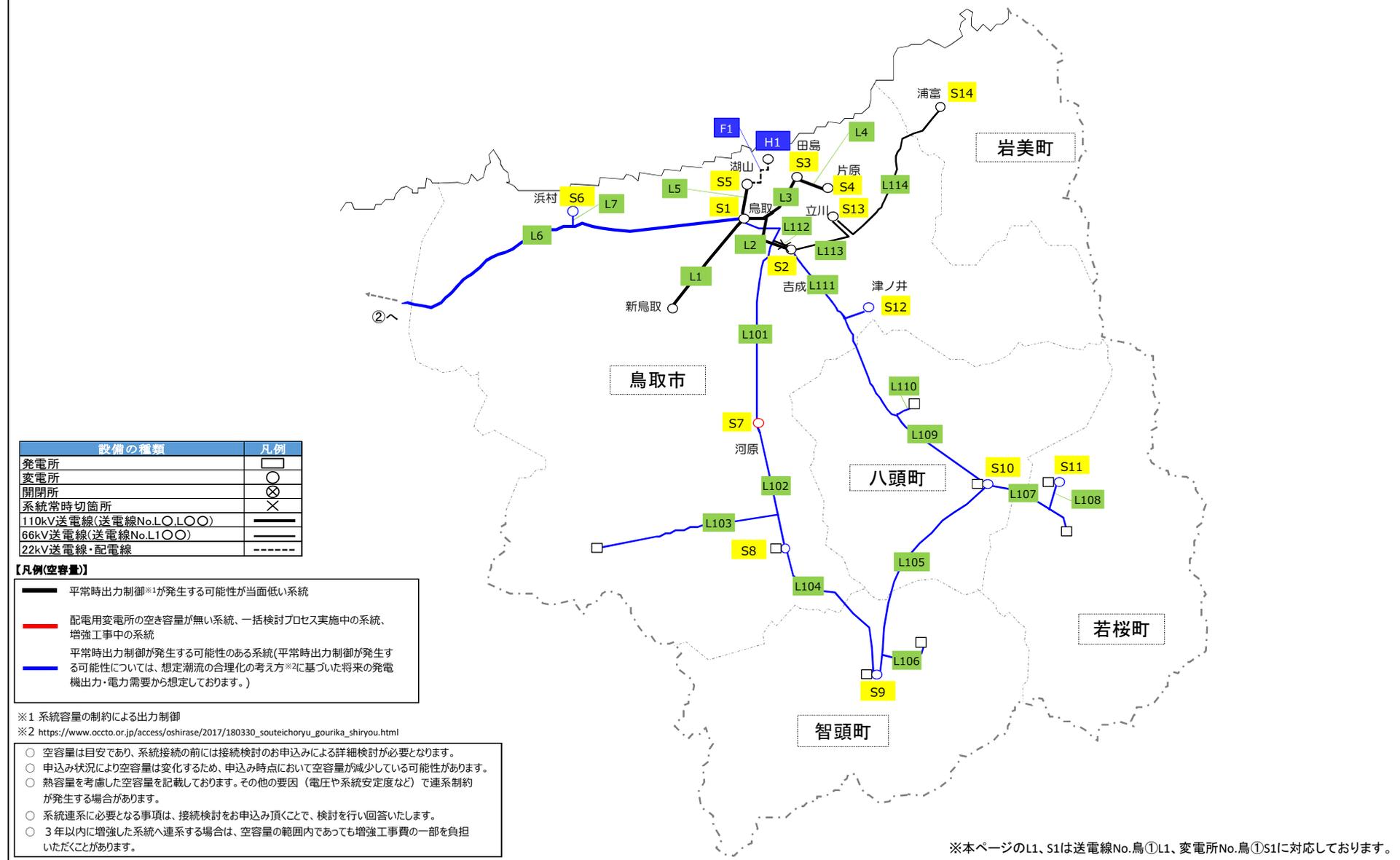
# 系統空容量マップ・系統構成（110kV以下）（鳥取県）

設備の種類	凡例
発電所	□
変電所	○
開閉所	⊗
系統常時切箇所	×
110kV送電線(送電線No.L.O.L.O.)	——
66kV送電線(送電線No.L1.O.)	——
22kV送電線・配電線	----

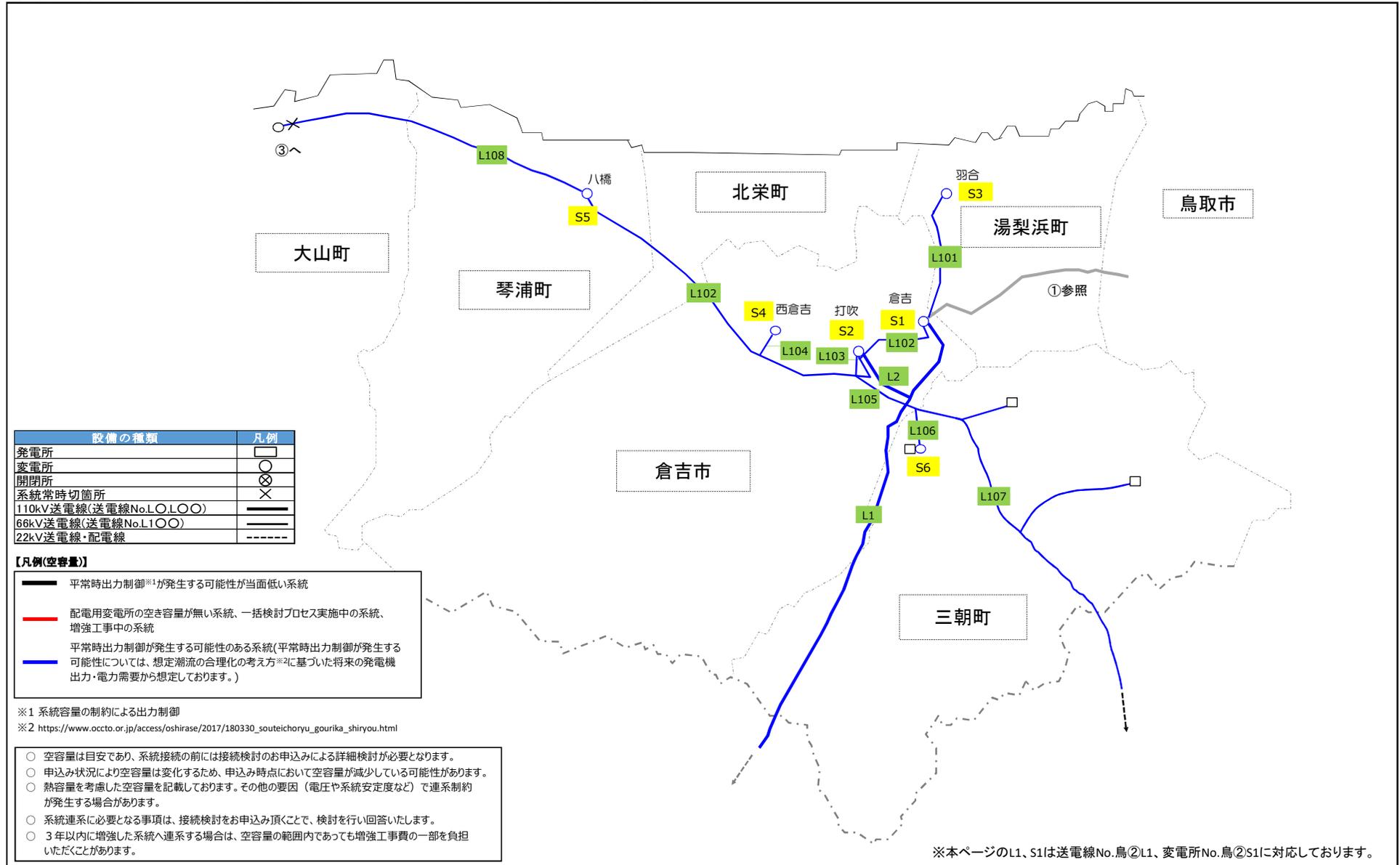


- 空容量は目安であり、系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- 系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

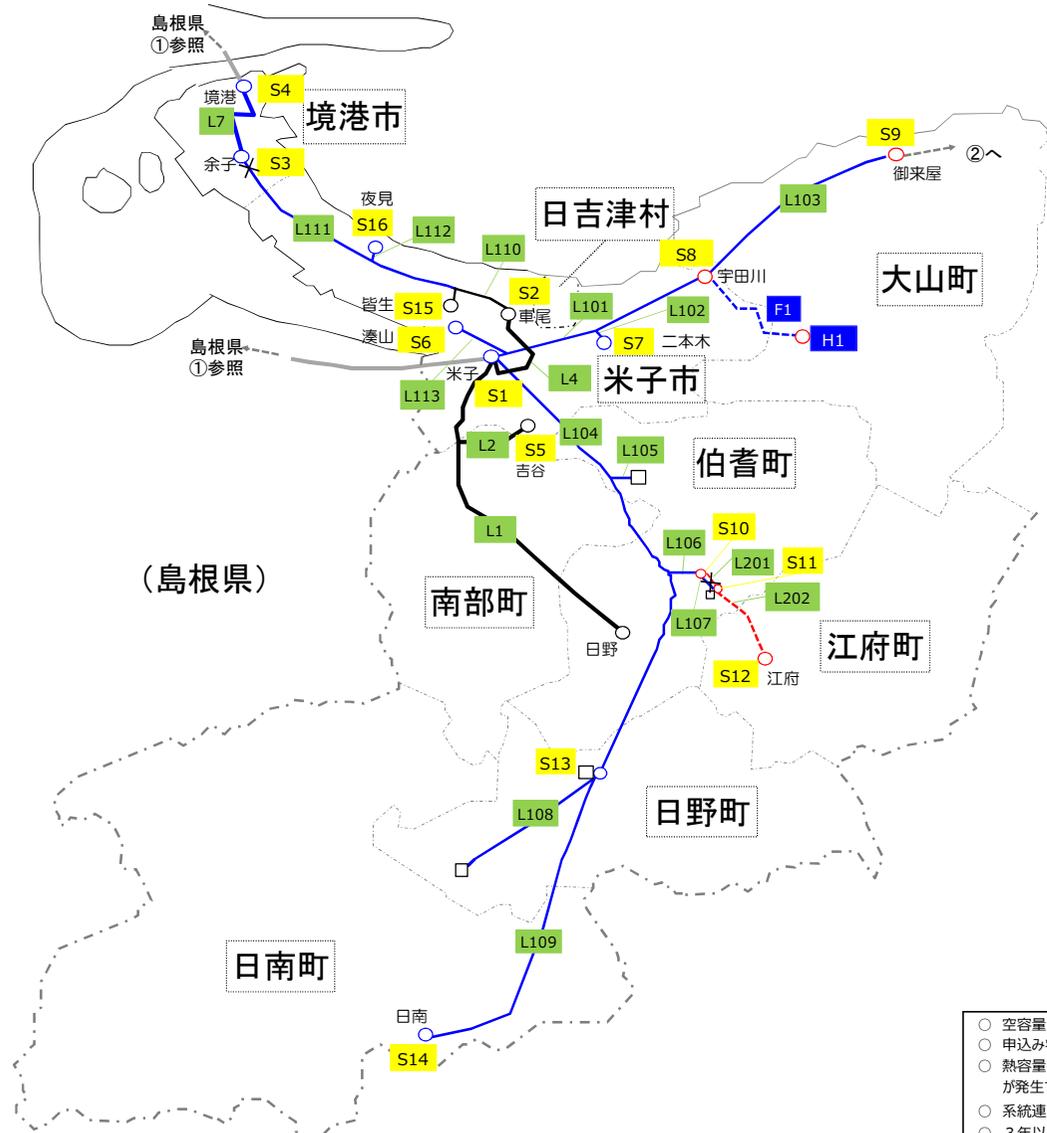
# 系統空容量マップ・系統構成 (110kV以下) (鳥取県) ①



## 系統空容量マップ・系統構成（110kV以下）（鳥取県）②



# 系統空容量マップ・系統構成（110kV以下）（鳥取県）③



設備の種類	凡例
発電所	□
変電所	○
開閉所	⊗
系統常時切箇所	×
110kV送電線(送電線No.L○,L○○)	——
66kV送電線(送電線No.L1○○)	——
22kV送電線・配電線	----

- 【凡例(空容量)】**
- 平常時出力制御※1が発生する可能性が当面低い系統
  - 配電用変電所の空容量が無い系統、一括検討プロセス実施中の系統、増強工事中の系統
  - 平常時出力制御が発生する可能性のある系統(平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方※2に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。)

※1 系統容量の制約による出力制御  
 ※2 [https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryoyu.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoyu.html)

- 空容量は目安であり、系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- 系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

※本ページのL1, S1は送電線No.鳥③L1、変電所No.鳥③S1に対応しております。

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
  - ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
  - ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
  - ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
  - ※4 1バンク変電所のため、1バンク故障時の対応を考慮し、移動機器容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可であっても、設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
  - #1 1回線送電線のため
  - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
  - #3 配電用変電所のため
  - #4 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方<sup>※6</sup>に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
  - ※[https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryuu.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html)
- (11) 2次の電圧が6kV以外の変圧器で配電系統として扱う設備には備考欄に「※5」を記載しております。
- (12) 電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。
  - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されております。
    - <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>
- (13) 予想潮流は、「電源接続や設備形成の検討における前提条件としての想定潮流の合理化の考え方について」に基づき算定し、平常時の系統構成において、各設備の最も混雑が想定される区間の潮流を掲載しております。
- (14) 個別需要が分かる専用線や電源が1ユニットのみ接続・運転している電源線の潮流については第三者情報を排除するよう加工処理しております。
- (15) 当社は、当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が、本情報を用いて行う一切の行為について、責任を負いません。

○シート①

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回数	設備容量 (100%×回数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
									当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥①L1	鳥取連絡線	110	2	976	512	熱容量	新鳥取(変) → 鳥取(変)	-503	-	-	可	448	-	-	-	
鳥①L2	鳥取吉成線	110	2	554	277	熱容量	鳥取(変) → 吉成(変)	-192	-	-	可	277	-	-	-	
鳥①L3	田島支線	110	2	302	151	熱容量	鳥取吉成線 → 田島(変)	7	-	-	可	151	-	-	-	
鳥①L4	田島片原線	110	1	52	52	熱容量	田島(変) → 片原(変)	2	-	-	不可 #1	-	-	-	-	※1
鳥①L5	湖山線	110	2	262	131	熱容量	鳥取(変) → 湖山(変)	1	-	-	可	131	-	-	-	
鳥①L6	鳥取線	110	2	360	204	熱容量	鳥取(変) → 倉吉(変)	-282	-	-	可	60	有り	対象	-	
鳥①L7	浜村支線	110	2	144	72	熱容量	鳥取線 → 浜村(変)	-12	-	-	可	72	有り	-	鳥①L6	
鳥①L101	河原線	66	2	102	51	熱容量	鳥取(変) → 河原(変)	-54	-	-	可	51	有り	対象	-	
鳥①L102	用瀬線	66	1	32	32	熱容量	河原線 → 用瀬(変)	-30	-	-	不可 #1	-	有り	対象	鳥①L101	※1
鳥①L103	佐治線	66	1	-	-	-	用瀬線 → 発電所	-	-	-	-	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102	◇
鳥①L104	大内用瀬線	66	1	43	43	熱容量	用瀬(変) → 大内(変)	-12	-	-	不可 #1	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L105,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①L105	八東大内線	66	1	32	32	熱容量	大内(変) → 八東(変)	-13	-	-	不可 #1	-	有り	対象	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①L106	新大呂支線	66	1	-	-	-	八東大内線 → 発電所	-	-	-	-	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L105,鳥①L111,鳥①L109	◇
鳥①L107	春米線	66	1	-	-	-	八東(変) → 発電所	-	-	-	-	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L111,鳥①L109	◇
鳥①L108	来見野支線	66	1	16	16	熱容量	春米線 → 来見野(変)	-5	-	-	不可 #1	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①L109	八東支線	66	1	32	32	熱容量	津ノ井線 → 八東(変)	-41	-	-	不可 #1	-	有り	対象	鳥①L111	※1
鳥①L110	竹市支線	66	1	-	-	-	八東支線 → 発電所	-	-	-	-	-	有り	-	鳥①L111,鳥①L109	◇
鳥①L111	津ノ井線	66	2	102	51	熱容量	吉成(変) → 津ノ井(変)	-39	-	-	可	51	有り	対象	-	
鳥①L112	吉成線	66	1	65	65	熱容量	河原線 → 吉成(変)	0	-	-	不可 #1	-	-	-	-	※1
鳥①L113	立川線	66	2	130	65	熱容量	吉成(変) → 立川(変)	-42	-	-	可	65	-	-	-	
鳥①L114	浦富線	66	2	86	43	熱容量	立川(変) → 浦富(変)	-42	-	-	可	43	-	-	-	
鳥①F1	湖山晩稲線	22	1	14	14	熱容量	-	-	14	1	不可 #1	-	-	-	-	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		回数	設備容量 (100%×回数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	予想潮流 <sup>※6</sup> (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
		一次	二次						当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥①S1-1	鳥取変電所	110	66	2	114	68	熱容量	-54	-	-	可	45	-	-	-	
鳥①S1-2	鳥取変電所	110	22	1	9	6	熱容量	-	6	1	不可 #2	-	-	-	-	※4, 5
鳥①S1-3	鳥取変電所	110	6	2	52	42	熱容量	-	14	1	不可 #3	-	-	-	-	
鳥①S2-1	吉成変電所	110	66	3	171	136	熱容量	-80	-	-	可	34	-	-	-	※2
鳥①S2-2	吉成変電所	110	6	2	52	42	熱容量	-	19	1	不可 #3	-	-	-	-	
鳥①S3-1	田島変電所	110	22	1	9	6	熱容量	-	6	1	不可 #2	-	-	-	-	※4, 5
鳥①S3-2	田島変電所	110	6	2	52	42	熱容量	-	19	1	不可 #3	-	-	-	-	
鳥①S4-1	片原変電所	110	22	1	9	9	熱容量	-	9	1	不可 #2	-	-	-	-	※1, 5
鳥①S4-2	片原変電所	110	6	1	19	19	熱容量	-	19	1	不可 #3	-	-	-	-	※1
鳥①S5-1	湖山変電所	110	22	1	9	6	熱容量	-	6	1	不可 #2	-	-	-	-	※4, 5
鳥①S5-2	湖山変電所	110	6	1	19	19	熱容量	-	19	1	不可 #3	-	-	-	-	※1
鳥①S6	浜村変電所	110	6	2	33	33	熱容量	-	10	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L6	
鳥①S7-1	河原変電所	66	22	1	9	6	熱容量	-	0	0	不可 #2	-	有り	-	鳥①L101	※4, 5
鳥①S7-2	河原変電所	66	6	2	23	23	熱容量	-	7	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L101	
鳥①S8	用瀬変電所	66	6	1	14	14	熱容量	-	11	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①S9	大内変電所	66	6	1	9	9	熱容量	-	9	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L105,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①S10	八東変電所	66	6	1	9	9	熱容量	-	4	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L105,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①S11	来見野変電所	66	6	1	5	5	熱容量	-	1	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L101,鳥①L102,鳥①L111,鳥①L109	※1
鳥①S12-1	津ノ井変電所	66	22	2	19	9	熱容量	-	6	0	不可 #2	-	有り	-	鳥①L111	※5
鳥①S12-2	津ノ井変電所	66	6	2	38	33	熱容量	-	12	0	不可 #3	-	有り	-	鳥①L111	
鳥①S13-1	立川変電所	66	22	2	19	9	熱容量	-	9	1	不可 #2	-	-	-	-	※5
鳥①S13-2	立川変電所	66	6	2	28	28	熱容量	-	12	1	不可 #3	-	-	-	-	
鳥①S14-1	浦富変電所	66	22	1	9	6	熱容量	-	6	1	不可 #2	-	-	-	-	※4, 5
鳥①S14-2	浦富変電所	66	6	2	19	19	熱容量	-	2	1	不可 #3	-	-	-	-	
鳥①H1	晩稲配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	-	5	1	不可 #3	-	-	-	-	※1

※6 高電圧側から低電圧側に流れる方向を正

○シート②

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)		回数	設備容量 (100%×回数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次							当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥②L1	湯原倉吉線	110	2	2	356	180	熱容量	倉吉(変) → 湯原第一(変)	-124	—	—	可	153	有り	—	鳥①L6	
鳥②L2	打吹支線	110	2	2	144	72	熱容量	湯原倉吉線 → 打吹(変)	-2	—	—	可	72	有り	—	鳥①L6	
鳥②L101	羽合線	66	2	2	86	43	熱容量	倉吉(変) → 羽合(変)	-50	—	—	可	36	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②L102	八橋線	66	2	2	116	58	熱容量	倉吉(変) → 八橋(変)	-57	—	—	可	37	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②L103	駄経支線	66	2	2	164	82	熱容量	八橋線 → 打吹(変)	-20	—	—	可	82	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②L104	西倉吉支線	66	2	2	164	82	熱容量	八橋線 → 西倉吉(変)	-1	—	—	可	82	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②L105	小鹿第二線	66	1	1	31	31	熱容量	打吹(変) → 発電所	-20	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	※1
鳥②L106	牧支線	66	1	1	16	16	熱容量	小鹿第二線 → 牧(変)	-3	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	※1
鳥②L107	—	66	1	1	—	—	熱容量	小鹿第二線 → 需要家	—	—	—	—	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	◇
鳥②L108	御来屋線	66	1	1	—	—	熱容量	八橋(変) → 御来屋(変)	—	—	—	—	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	予想潮流 <sup>※6</sup> (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次						当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥②S1-1	倉吉変電所	110	66	2	114	68	熱容量	-103	—	—	可	0	有り	対象	鳥①L6	
鳥②S1-2	倉吉変電所	110	6	2	42	38	熱容量	—	17	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6	
鳥②S2-1	打吹変電所	110	22	1	9	6	熱容量	—	6	0	不可 #2	—	有り	—	鳥①L6	※4, 5
鳥②S2-2	打吹変電所	110	6	2	42	38	熱容量	—	17	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6	
鳥②S3	羽合変電所	66	6	2	28	28	熱容量	—	7	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②S4-1	西倉吉変電所	66	22	2	23	9	熱容量	—	9	0	不可 #2	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	※5
鳥②S4-2	西倉吉変電所	66	6	2	28	28	熱容量	—	13	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②S5	八橋変電所	66	6	2	38	33	熱容量	—	7	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	
鳥②S6	牧変電所	66	6	1	9	9	熱容量	—	6	0	不可 #3	—	有り	—	鳥①L6,鳥②S1-1	※1

※6 高電圧側から低電圧側に流れる方向を正

○シート③

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)		回数	設備容量 (100%×回数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次							当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥③L1	米子連絡線	110	2	2	976	502	熱容量	日野(変) → 米子(変)	-281	—	—	可	460	—	—	—	
鳥③L2	吉谷支線	110	2	2	176	88	熱容量	米子連絡線 → 吉谷(変)	-17	—	—	可	88	—	—	—	
鳥③L4	車尾線	110	2	2	418	209	熱容量	米子(変) → 車尾(変)	-40	—	—	可	195	—	—	—	
鳥③L7	境港余子線	110	1	1	136	136	熱容量	境港(変) → 余子(変)	-71	—	—	不可 #1	—	有り	—	基S24-1	※1
鳥③L101	米子線	66	2	2	158	89	熱容量	米子(変) → 宇田川(変)	-126	—	—	可	46	有り	対象	鳥③S1-1	
鳥③L102	二本木支線	66	2	2	164	82	熱容量	米子線 → 二本木(変)	-4	—	—	可	82	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	
鳥③L103	宇田川線	66	1	1	50	50	熱容量	宇田川(変) → 御来屋(変)	-48	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※1
鳥③L104	黒坂線	66	2	2	86	43	熱容量	米子(変) → 黒坂(変)	-60	—	—	可	30	有り	対象	鳥③S1-1	
鳥③L105	新橋郷線	66	2	—	—	—	熱容量	黒坂線 → 発電所	—	—	—	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104	◇	
鳥③L106	旭支線	66	2	2	64	32	熱容量	黒坂線 → 旭(変)	-32	—	—	可	32	有り	対象	鳥③S1-1,鳥③L104	
鳥③L107	新川平線	66	1	1	43	43	熱容量	旭(変) → 新川平(変)	-26	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1
鳥③L108	日野川第一線	66	1	—	—	—	熱容量	黒坂(変) → 発電所	—	—	—	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104	◇	
鳥③L109	日南線	66	1	1	21	21	熱容量	黒坂(変) → 日南(変)	0	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104	※1
鳥③L110	皆生線	66	2	2	172	86	熱容量	車尾(変) → 皆生(変)	-42	—	—	可	65	—	—	—	
鳥③L111	余子支線	66	2	2	76	38	熱容量	皆生線 → 余子(変)	-41	—	—	可	24	有り	対象	—	
鳥③L112	夜見支線	66	2	2	100	50	熱容量	余子支線 → 夜見(変)	-13	—	—	可	50	有り	—	鳥③L111	
鳥③L113	湊山線	66	1	1	32	32	熱容量	米子線 → 湊山(変)	0	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※1
鳥③L201	旭新川平線	22	1	1	15	15	熱容量	—	—	4	0	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1
鳥③L202	江府線	22	1	1	14	14	熱容量	新川平(変) → 江府(変)	-12	—	—	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1
鳥③F1	宇田川大山線	22	1	1	14	14	熱容量	—	—	9	0	不可 #1	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	予想潮流 <sup>※6</sup> (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次						当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系設備	
鳥③S1-1	米子変電所	110	66	3	285	204	熱容量	-226	—	—	可	77	有り	対象	—	※2
鳥③S1-2	米子変電所	110	6	2	42	38	熱容量	—	18	18	不可 #3	—	—	—	—	
鳥③S2-1	車尾変電所	110	66	2	114	57	熱容量	-42	—	—	可	43	—	—	—	
鳥③S2-2	車尾変電所	110	6	2	52	42	熱容量	—	17	17	不可 #3	—	—	—	—	
鳥③S3-1	余子変電所	110	66	1	57	57	熱容量	-18	—	—	不可 #2	—	有り	—	基S24-1	※1
鳥③S3-2	余子変電所	110	22	1	11	6	熱容量	-6	—	—	不可 #2	—	有り	—	基S24-1	※4
鳥③S3-3	余子変電所	66	6	2	28	28	熱容量	—	5	0	不可 #3	—	有り	—	基S24-1	
鳥③S4	境港変電所	110	6	3	52	47	熱容量	—	12	0	不可 #3	—	有り	—	基S24-1	
鳥③S5-1	吉谷変電所	110	22	2	23	9	熱容量	—	9	9	不可 #2	—	—	—	—	※5
鳥③S5-2	吉谷変電所	110	6	2	38	38	熱容量	—	2	2	不可 #3	—	—	—	—	
鳥③S6-1	湊山変電所	66	22	1	9	6	熱容量	—	6	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※4, 5
鳥③S6-2	湊山変電所	66	6	1	14	14	熱容量	—	14	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※1
鳥③S7-1	二本木変電所	66	22	1	19	9	熱容量	0	—	—	不可 #2	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	
鳥③S7-2	二本木変電所	66	22	1	9	9	熱容量	—	9	0	不可 #2	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※5
鳥③S7-3	二本木変電所	66	6	1	23	14	熱容量	—	10	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※4
鳥③S8-1	宇田川変電所	66	22	1	9	6	熱容量	—	2	0	不可 #2	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※4, 5
鳥③S8-2	宇田川変電所	66	6	2	19	19	熱容量	—	0	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	
鳥③S9-1	御来屋変電所	66	22	1	9	6	熱容量	—	6	0	不可 #2	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※4, 5
鳥③S9-2	御来屋変電所	66	6	2	23	23	熱容量	—	0	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	
鳥③S10-1	旭変電所	66	22	1	14	14	熱容量	—	0	0	不可 #2	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1, 5
鳥③S10-2	旭変電所	66	6	1	14	14	熱容量	—	0	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1
鳥③S11	新川平変電所	66	22	1	14	14	熱容量	-12	—	—	不可 #2	—	有り	対象	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106	※1
鳥③S12	江府変電所	22	6	1	5	5	熱容量	—	4	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104,鳥③L106,鳥③S11	※1
鳥③S13	黒坂変電所	66	6	1	9	9	熱容量	—	4	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104	※1
鳥③S14	日南変電所	66	6	1	5	5	熱容量	—	5	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L104	※1
鳥③S15	皆生変電所	66	6	3	47	42	熱容量	—	12	12	不可 #3	—	—	—	—	
鳥③S16-1	夜見変電所	66	22	1	9	6	熱容量	—	4	0	不可 #2	—	有り	—	鳥③L111	※4, 5
鳥③S16-2	夜見変電所	66	6	1	19	14	熱容量	—	4	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③L111	※4
鳥③H1	大山配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	—	0	0	不可 #3	—	有り	—	鳥③S1-1,鳥③L101	※1

※6 高電圧側から低電圧側に流れる方向を正